



皆に好かれる人よりも 皆を好きになれる人になろう

実は、この言葉は外国の童話からです。

あるお母さんに子どもが生まれました。お母さんは天に向かってお願いします。「どうか、この子が誰からも好かれる子になりますように。」と。そして、願いが届き、その子は皆から好かれる子に育ちました。しかし、何をしても皆から好かれる子は、どンドンわがままになっていきました。

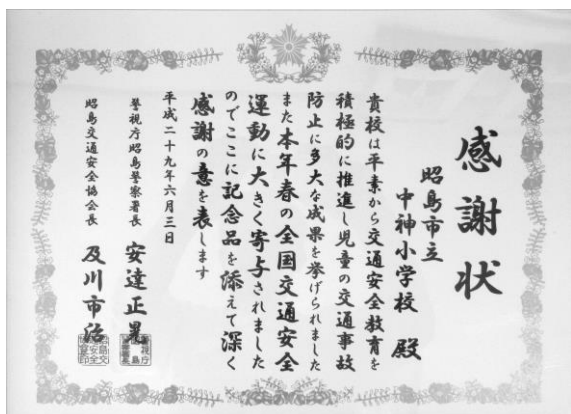
ある時、母は気付きました。「私の願いが間違っていました。どうか、この子が誰をも好きになれる人にしてやってください。」と。その子はそれから、みんなを好きになれる素晴らしい人になりました。

心理学では、「人は自分に好意をもってくれた相手を好きになりやすい」傾向があるそうです。ですから、人間関係を高めるにはまず自分から相手を好きになることが、人が人らしく生きるための大切な視点とも言えます。

遺伝子研究の世界的権威の村上和雄教授著「人生の暗号」(サンマーク出版)にもこんなことが書かれていました。最新のコンピュータで「どんな人間が最後に生き残るか」を推測したところ、大方の予想が「強い人」「競争に勝ち抜く人」だったのに対して、コンピュータの回答は「譲る心をもった人」だったそうです。『人の心は他人のために献身的に努力している時、理想的な状態で遺伝子が働きます。自分の心を充実させてあげる、という生き方をすれば良いのです。』と村上教授は書いていました。人は、本来、他人のために行動することを喜びとする、素晴らしい心をもった生物なのですね。

7月は、4月に立てた学習・生活などにおける自分の目標を振り返り、1学期のまとめをしていきます。夏休みに向けて有意義に過ごせるように、ご家庭でも声かけをお願いいたします。

春の交通安全運動への取組について昭島警察署から感謝状をいただきました



6月3日、本年春の全国交通安全運動に関して昭島警察署から感謝状をいただきました。これは、この春の活動だけでなく、これまでの多年にわたる見守り活動をしてくださっている保護者・地域の皆様のおかげと感謝しております。

今後とも子どもたちの見守りをよろしくお願いいたします。